

機械製図<実践技術>

昨今では、製品の小型化、高性能化に伴い、部品の高精度化、複雑形状化が進んでいます。本講座では、機械設計業務の効率化をめざして、機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を習得を図ります。

◆◆◆◆開催概要◆◆◆◆

- 【日程】 10月31日(水)、11月1日(木) 2日間
- 【時間】 各日共 9:50 ~ 16:35
- 【場所】 近畿職業能力開発大学校
〒596-0103 大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1
電話072-489-2114(援助計画課)
- 【講師】 近畿職業能力開発大学校 講師
- 【対象】 機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であつて、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者
- 【定員】 5名
- 【受講料】 10,000円/名
- 【主催】 堺市産業振興センター
- 【共催】 近畿職業能力開発大学校



◆◆◆◆カリキュラム◆◆◆◆

1. 概要
 - (1) 訓練の目的
 - (1) 加工を考慮した図面の描き方
金型の設計製図に関する事例
 - (2) 組立を考慮した設計図面の描き方
 - ① ツープレート金型
 - ② 分解と組み立て実習
 - (3) 確認・評価・改善検討
 - (2) 機械製図上の留意事項
 - (1) 図面より立体形状の実践的把握
 - ① 立体形状の把握方法
 - ② スケッチ手法
 - (2) 確認・評価・改善検討
 - (3) 実践的設計図面の描き方と組立てによる検証
 - (1) 組立図及び部品の課題実習
 - ① 課題の提示とポイント
 - ② 部品図の作成
 - (2) 確認・評価・改善検討
2. 機械製図上の留意事項
 - (1) 組立図及び部品の課題実習
 - ① 課題の提示とポイント
 - ② 部品図の作成
 - (2) 確認・評価・改善検討
3. 実践的設計図面の描き方と組立てによる検証
 - (1) 組立図及び部品の課題実習
 - ① 課題の提示とポイント
 - ② 部品図の作成
 - (2) 確認・評価・改善検討
4. 総合課題
 - (1) 組立図及び部品の課題実習
 - ① 課題の提示とポイント
 - ② 部品図の作成
 - (2) 確認・評価・改善検討
5. まとめ
 - (1) 全体的な講評および確認・評価

【申込方法】

下記の参加申込書に必要事項を記入し、FAXでお送りください。申込受付後、受講料振込用紙をお送り致しますので、記載の期日までにお振込みください。
※欠席の場合、受講料は返金できませんので、代理の方を派遣ください。開催日までに参加証をお送り致します。

【お申込み・お問合せ先】

(公財)堺市産業振興センター 担当: 江口・小松
〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183-5
電話 072-255-6700 FAX 072-255-1185
URL <http://www.sakai-ipc.jp>

(公財)堺市産業振興センター 行

FAX 072-255-1185

平成30年度テクノ・オープン・カレッジ「機械製図<実践技術>」参加申込書

会社名		創業5年未満の場合は右欄に ○をご記入下さい		
住所		電話	FAX	
参加者氏名	部署	役職	生年月日(西暦)	主な仕事内容/勤続年数
(フリガナ)				/ 年
(フリガナ)				/ 年
本件の担当者氏名 (フリガナ)		部署・役職	連絡先電話番号	

※本セミナーは、堺市の創業支援事業計画に位置づけられた認定創業支援事業(人材育成)にあたります。詳細は、堺市ものづくり支援課までお問合せください。(TEL 072-228-7534 事業紹介URL <http://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/oshirase/sougyoushien/sougyoshienkeikaku.html>)

※お申込みにていただいた個人情報は、当セミナーへのお申込みの確認及び当センターが行うセミナー等のご案内に利用させていただく場合がございます。